



パルシステムは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

パルシステム×産直産地で

2006年から取り組んでいる

『日本のこめ豚』ってサステナブル。

家畜の飼料のほとんどを輸入に頼っている現状を変えようと、「日本の米」を飼料に配合して育てた豚が『日本のこめ豚』です。2006年からその施策を検討していたところ、2011年3月、東日本大震災のときに飼料メーカーの工場被災などにより、輸入原料の飼料がストップ。備蓄していた米によって豚のいのちが救われました。その後も段階的に米の配合比率を上げる取り組みを続け、現在では40%配合の商品※をお届けしています。飼料用米を食べて育った豚の肉を食べることが、日本の食料自給率向上にもつながります。

※冷蔵品のみ。冷凍品は順次切り替え予定。

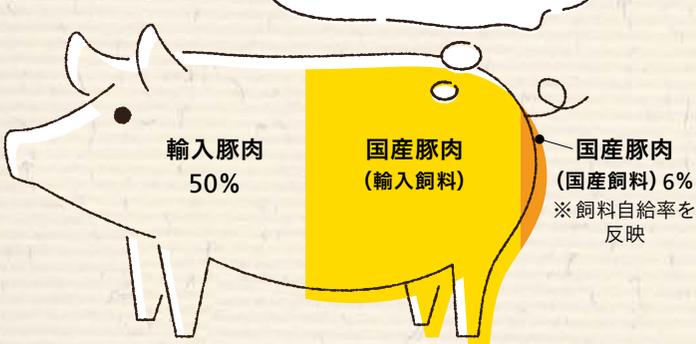
食料自給率の壁に挑む生産者の思いを動画で▶



輸入飼料に頼らない畜産をめざして

日本で流通する豚肉のうち、国産豚肉は約50%ですが、飼料も含めた国産比率はほんのわずか。飼料も含めると、そのほとんどを輸入に頼っているのが現状です。パルシステムの産直産地「ポークランドグループ」(秋田県)では、耕されなくなった田んぼなどで「飼料用米」を作り、それを食べた家畜のふん尿を堆肥化→農地に還元するという“資源の循環=日本型畜産”を進めています。

豚肉の食料自給率(カロリーベース)



出典：農林水産省令和2年度食料自給率・食料自給力指標についてより作成

サステナブルな日本型畜産



カタログではマークを付けています！



特徴1

薬剤に頼らず、健康に育てる

一般の畜産では、生産効率を上げたり、病気を防いだりするために、抗生物質など薬剤に頼ることも。パルシステムの産直産地では、豚にとってストレスの少ない環境に整えることで、健康に飼育。病気になりにくい元気な豚に育てるから、薬剤にはできるだけ頼りません。

特徴2

動物の生きる環境に配慮

生産性を重視するあまり、身動きがとれないほどせまい畜舎で飼育するのではなく、動物本来の生態に配慮し、苦痛の少ない飼育をめざす「アニマルウェルフェア」に取り組んでいます。ポークランドグループでは、豚は穴を掘ったり、寝転がったり、自由に動きまわっているの、ストレスも少なくなります。



ポークランドグループ(秋田県)のバイオベッド豚舎(室内型放牧)のようす。

「カタログ」に掲載されているマークについて

- 遺伝子組換え表示** 遺伝子組換え対象外の商品には表示しません。
 - ※この表示の適用範囲は、水産、畜産、惣菜食品、冷凍食品、パン、牛乳、加工食品、調味料、飲料、菓子です。
 - ※遺伝子組換え対象作物・大豆、とうもろこし、じゃがいも、菜種、綿実、アルファルファ、てん菜、パパイア
- 不使用** 原料のすべてにおいて遺伝子組換え原料を使用していない
- 主原料不使用** 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものは遺伝子組換え原料を使用。ただし、5%未満の原料に不分別の原料が使われている
- 副原料不分別** 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものは遺伝子組換え対象外の原料を使用。ただし、5%未満の原料に不分別の原料が使われている
- 不分別** 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものに、不分別の原料が使われている

- pal** パルシステムが独自開発したオリジナル商品
- 産直** 主原料で、かつ当該商品を製造するうえで不可欠な原料に産直提携の水産品を使用した商品
- リユース・リサイクルするもの** (紙バック・びん類・野菜の通い箱等)

- 組合員開発** 組合員による商品開発チームなどが、商品開発に協力した商品
- 産直原料** 主原料で、かつ当該商品を製造するうえで不可欠な原料に産直提携の水産品を使用した商品
- プラ削減** 容器包装や付属(ストローなど)のプラスチック削減に取り組んだ商品

- アレルゲンの表示** アレルギーのある方は、商品包材の表示を必ずご確認ください。

表示品目	卵	乳	小麦	そば	落花生	えび	かに	大豆
表示方法	卵	乳	麦	そ	落	え	か	豆

青果・米・卵・酒・非食品を除くすべての商品のうち、原材料に特定原材料7品目と大豆が含まれている商品には、その品目名を略称で表示しています。

※大豆を除く特定原材料に準ずる20品目については、表示していません。

※コンタミネーション表示については、特定原材料7品目と大豆で、かつ製造者から情報提供をいただいた商品のみの表示となっています。(乳)(そ)のように()で表示しています。

配達・利用についてのお問い合わせ ※通話料は無料です。

■ 配達、交換、返品、請求関係、休止、住所変更 など

パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき

【パルシステム問合せセンター】

0120-868-014

パルシステム ヘルプ 検索

月～金曜日:9時～20時
土曜日:9時～17時

※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨 甲斐センター ■ 0120-28-5891 西桂センター ■ 0120-32-1061 一宮センター ■ 0120-21-9898

パルシステム群馬 高崎センター ■ 0120-60-5118 渋川センター ■ 0120-36-3315 東毛センター ■ 0120-63-3735

※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。

商品についてのお問い合わせ

■ 原材料、賞味期間、使い方、レシピ など

【商品情報ダイヤル】

0570-011-099

月～金曜日:10時～17時

お問い合わせをいただいた際、お名前、組合員番号、電話番号を伺います。

レシピはこちらで検索

※ナビダイヤルは有料です。パルシステムの配達エリアからは固定電話の場合、一律1分10円+消費税でご利用いただけます。携帯電話の場合は、ご本人の利用プランにより料金異なります。

その他のお問い合わせ ※通話料は無料です。

■ 欠品情報自動お知らせダイヤル

0120-829-804 (受付時間:注文用紙提出日翌日18時～商品配達日前日)

※欠品情報案内後にあらたに欠品が発生する場合があります。

■ CO・OP共済 コープ共済センター

0120-50-9431 月～土曜日:9時～18時

■ 各種保険 共済連保険事務センター

0120-201-342 月～金曜日:9時～17時30分

■ カタログ「Caica(かいか)」チケット、雑誌年間購読、教材、国内旅行など

■ カタログ「スクエア住まいとくらし」新築・リフォーム、太陽光発電、シロアリ防駆除、エアコンクリーニングなど住まいとくらしのサービス

サービス事業課 **0120-114-312** 月～金曜日:10時～17時



パルシステムは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

パルシステム×産直産地で『日本のこめ豚』ってサステナブル。

2006年から取り組んでいる

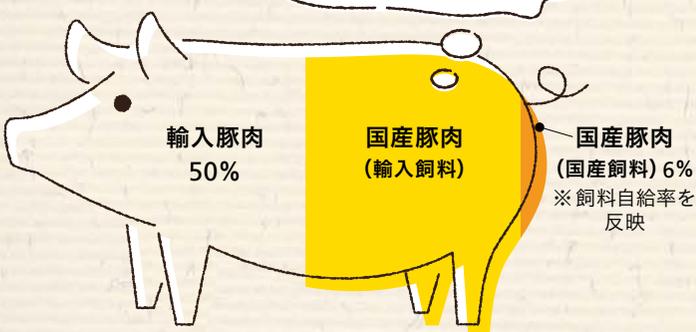
家畜の飼料のほとんどを輸入に頼っている現状を変えようと、「日本の米」を飼料に配合して育てた豚が『日本のこめ豚』です。2006年からその施策を検討していたところ、2011年3月、東日本大震災のときに飼料メーカーの工場被災などにより、輸入原料の飼料がストップ。備蓄していた米によって豚のいのちが救われました。その後も段階的に米の配合比率を上げる取り組みを続け、現在では40%配合の商品※をお届けしています。飼料用米を食べて育った豚の肉を食べることが、日本の食料自給率向上にもつながります。

※冷蔵品のみ。冷凍品は順次切り替え予定。

輸入飼料に頼らない畜産をめざして

日本で流通する豚肉のうち、国産豚肉は約50%ですが、飼料も含めた国産比率はほんのわずか。飼料も含めると、そのほとんどを輸入に頼っているのが現状です。パルシステムの産直産地「ポークランドグループ」(秋田県)では、耕されなくなった田んぼなどで「飼料用米」を作り、それを食べた家畜のふん尿を堆肥化→農地に還元するという“資源の循環=日本型畜産”を進めています。

豚肉の食料自給率(カロリーベース)



出典：農林水産省令和2年度食料自給率・食料自給力指標についてより作成

サステナブルな日本型畜産



カタログではマークを付けています！



特徴1

薬剤に頼らず、健康に育てる

一般の畜産では、生産効率を上げたり、病気を防いだりするために、抗生物質など薬剤に頼ることも。パルシステムの産直産地では、豚にとってストレスの少ない環境に整えることで、健康に飼育。病気になりにくい元気な豚に育てるから、薬剤にはできるだけ頼りません。

特徴2

動物の生きる環境に配慮

生産性を重視するあまり、身動きがとれないほどせまい畜舎で飼育するのではなく、動物本来の生態に配慮し、苦痛の少ない飼育をめざす「アニマルウェルフェア」に取り組んでいます。ポークランドグループでは、豚は穴を掘ったり、寝転がったり、自由に動きまわっているの、ストレスも少なくなります。



ポークランドグループ(秋田県)のバイオベッド豚舎(室内型放牧)のようす。

「カタログ」に掲載されているマークについて

- 遺伝子組換え表示** 遺伝子組換え対象外の商品には表示しません。
 - ※この表示の適用範囲は、水産、畜産、惣菜食品、冷凍食品、パン、牛乳、加工食品、調味料、飲料、菓子です。
 - ※遺伝子組換え対象作物・大豆、とうもろこし、じゃがいも、菜種、綿実、アルファルファ、てん菜、パパイア
- 不使用** 原料のすべてにおいて遺伝子組換え原料を使用していない
- 主原料不使用** 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものは遺伝子組換え原料を使用。ただし、5%未満の原料に不分別の原料が使われている
- 副原料不分別** 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものは遺伝子組換え対象外の原料を使用。ただし、5%未満の原料に不分別の原料が使われている
- 不分別** 原料のなかで水を除く、構成比5%以上のものに、不分別の原料が使われている

- pal** パルシステムが独自開発したオリジナル商品
- 産直** 主原料で、かつ当該商品を製造するうえで不可欠な原料に産直提携の水産品を使用した商品
- リユース・リサイクルするもの** (紙バック・びん類・野菜の通い箱等)

- 組合員開発** 組合員による商品開発チームなどが、商品開発に協力した商品
- 産直原料** 主原料で、かつ当該商品を製造するうえで不可欠な原料に産直提携の水産品を使用した商品
- プラ削減** 容器包装や付属(ストローなど)のプラスチック削減に取り組んだ商品

■ アレルゲンの表示 アレルギーのある方は、商品包材の表示を必ずご確認ください。

表示品目	卵	乳	小麦	そば	落花生	えび	かに	大豆
表示方法	卵	乳	麦	そ	落	え	か	豆

青果・米・卵・酒・非食品を除くすべての商品のうち、原材料に特定原材料7品目と大豆が含まれている商品には、その品目名を略称で表示しています。

※大豆を除く特定原材料に準ずる20品目については、表示していません。

※コンタミネーション表示については、特定原材料7品目と大豆で、かつ製造者から情報提供をいただいた商品のみの表示となっています。(乳)(そ)のように()で表示しています。

配達・利用についてのお問い合わせ ※通話料は無料です。

■ 配達、交換、返品、請求関係、休止、住所変更 など

パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき

【パルシステム問合せセンター】

0120-868-014

※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム ヘルプ 検索

月～金曜日：9時～20時
土曜日：9時～17時

パルシステム山梨
甲斐センター ■ 0120-28-5891
西桂センター ■ 0120-32-1061
一宮センター ■ 0120-21-9898

パルシステム群馬
高崎センター ■ 0120-60-5118
渋川センター ■ 0120-36-3315
東毛センター ■ 0120-63-3735

※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。

商品についてのお問い合わせ

■ 原材料、賞味期間、使い方、レシピ など

【商品情報ダイヤル】

0570-011-099

月～金曜日：10時～17時

お問い合わせをいただいた際、お名前、組合員番号、電話番号を伺います。

※ナビダイヤルは有料です。パルシステムの配達エリアからは固定電話の場合、一律1分10円+消費税でご利用いただけます。携帯電話の場合は、ご本人の利用プランにより料金が異なります。

レシピはこちらで検索

その他のお問い合わせ ※通話料は無料です。

■ 欠品情報自動お知らせダイヤル

0120-829-804 (受付時間：注文用紙提出日翌日18時～商品配達日前日)

※欠品情報案内後にあらたに欠品が発生する場合があります。

■ CO・OP共済

コープ共済センター

0120-50-9431 月～土曜日：9時～18時

■ 各種保険

共済連保険事務センター

0120-201-342 月～金曜日：9時～17時30分

■ カタログ「Caica(かいか)」チケット、雑誌年間購読、教材、国内旅行など

■ カタログ「スクエア住まいとくらし」新築・リフォーム、太陽光発電、シロアリ防除、エアコンクリーニングなど住まいとくらしのサービス

サービス事業課 0120-114-312 月～金曜日：10時～17時